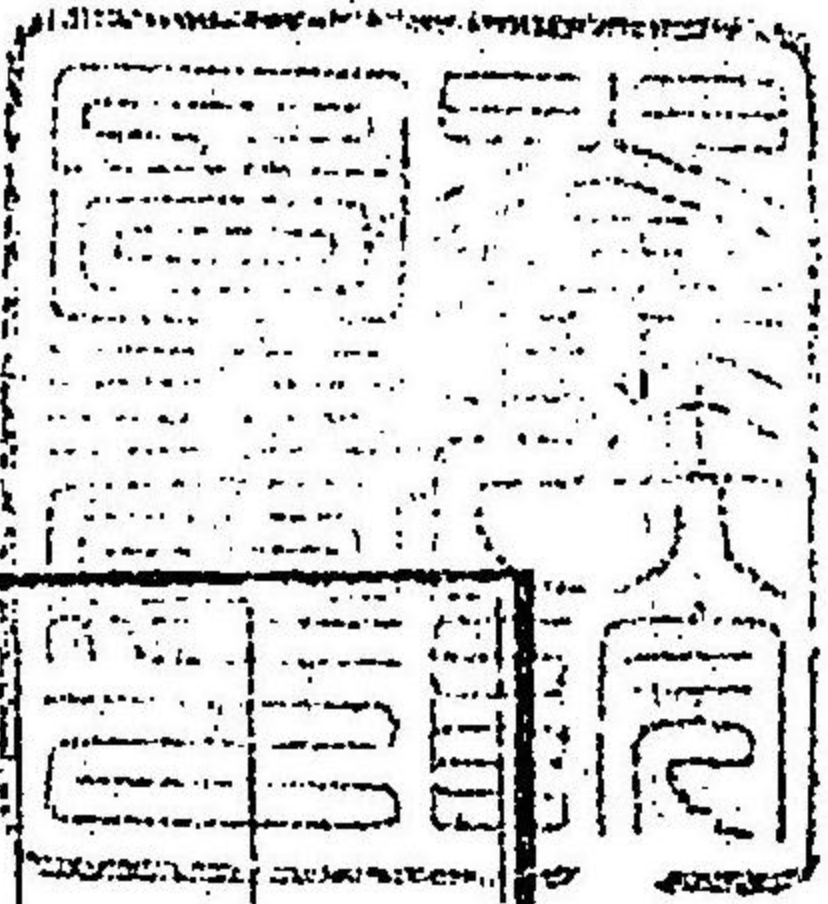


三
刑
法
草
案

自
第
四
編
至
第
一
編

W358
5

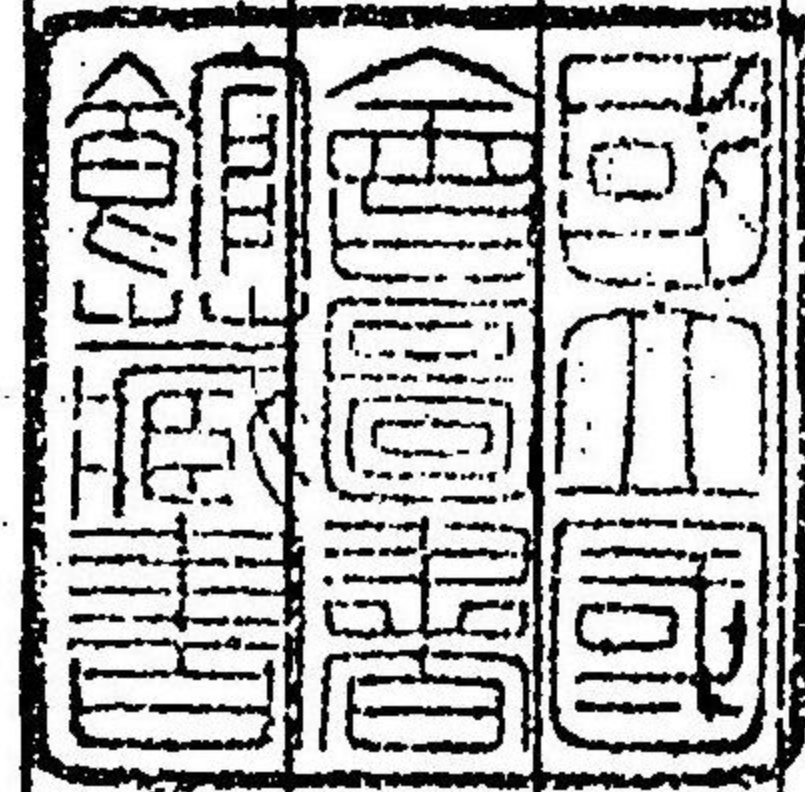


三四

刑法草案

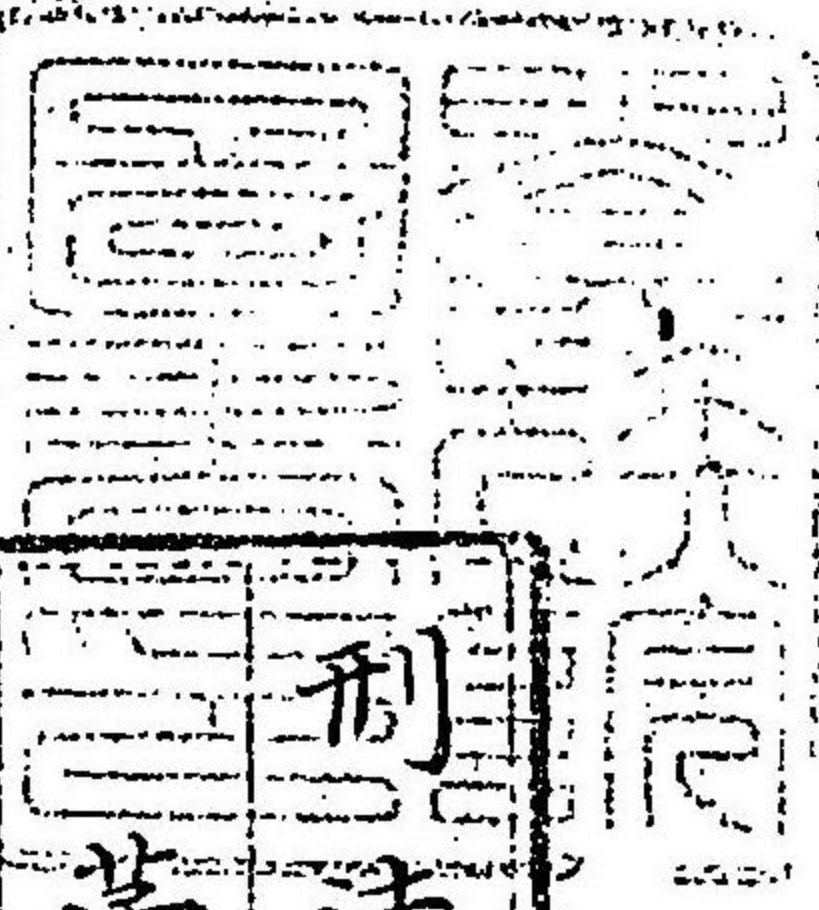
自第一編
至第四編

W35A
5



45.6.13
831052

刑部法律司



刑法

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト爲ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖

モ之ヲ罰スルヲ得ス

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホス

ヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未夕判決ヲ經サル

刑部法律司

者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處斷ス
第四條 此刑法ハ陸海軍ニ関スル法律ヲ以テ
論ス可キ者ニ施用スルヲ得ス

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則
ニ刑名ヲル者ハ各其法律規則ニ從フ
若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサ
ル者ハ此刑法ノ總則ニ從フ

第二章 刑例

第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト為ス
主刑ハ之ヲ宣告ス
附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セ
サル者トヲ定ム

第七條 左ニ記載スル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト
為ス

一 死刑

二 無期徒刑

三 有期徒刑

四 無期流刑

五 有期徒刑

六 重懲役

七 輕懲役

八 重禁獄

九 輕禁獄

第八條 左ニ記載スル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト
為ス

一 重禁錮

二 輕禁錮

三 罰金

第九條 左ニ記載スル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト為ス

一 拘留

二 科料

第十條 左ニ記載スル者ヲ以テ附加刑ト為ス

一 剝奪公權

二 停止公權

三 禁治產

四 監視

五 罰金

六 沒收

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二節 主刑處分

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢ニ獄内ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ行フヲ得ス

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受タル婦女懷胎ナル時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非

サレハ刑ヲ行ハス

第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレ

ハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ徒

場ニ入レ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第十八條 徒刑ノ婦女ハ島地ニ送遣セス内地

ノ懲役ニ於テ定役ニ服ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ

定役ヲ免シ其躰力相当ノ定役ニ服ス

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄

ニ幽閉シ定役ニ服セス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下ト為ス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ

幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限り居住セシム

ルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役

ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ

從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年

以上八年以下ト為ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服

セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年

以上八年以下ト為ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ

定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分クス十一日以上五年以下ト

為ス仍各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ賃錢ハ分ラ

三ト為シ其二分ハ獄舎ノ費用ニ供シ其一分

ハ本犯ニ給與ス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト為シ仍各本

條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内

ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓ニ

ラ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ

滿サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス

換事ノ求ニ因リ裁判所長之ヲ命ス

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過ニ

タル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス但親屬其他

ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服

セス其刑期ハ一日以上十日以下ト為シ仍ホ

各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以

下ト為シ仍各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ

納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十

七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

一 國民ノ特權

二 官吏ト為ルノ權

三 勲章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四 外國ノ勲章ヲ佩用スルノ權

五 兵籍ニ入ルノ權

六 裁判所ニ於テ證人ト為ルノ權但草ニ事實

ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト為ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子

孫ノ為メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト為リ又ハ會社及ヒ共有

財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト為ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剝奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間

公權ヲ行フヲ停止ス

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル

者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ノ期限間公權ヲ

行フヲ停止ス主刑ヲ免シテ止テ監視ニ付

シタル者亦同ニ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ親カラ財

産ヲ治ムルヲ禁ス但其財產ハ後見人ヲシ

テ之ヲ管理セシム

第三十六條 流刑ノ因幽閉ヲ免セラレタル時

ハ自ラ治産ノ禁ヲ免シタル者トス

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス各本刑短期ノ三分ノ一ニ等

シキ時間ノ監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ

宣告ス但各本條ニ記載スルノ外監視ニ付ス

ルヲ得ス

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得

タル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス五年間ノ監視ニ

付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨ

リ起算ス主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ其挿

ニ就キタル日ヨリ起算ス

若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ

其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其清狀ニ

因リ行政ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ

得

第四十二條 附加ノ罰金ハ各本條ニ照シ宣告

シテ之ヲ科ス

附加ノ罰金ヲ科セラレタル者二月内ニ納完

セサル時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ

換ヘ主刑期滿限ノ後之ヲ執行ス

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ

官ニ没收ス但法律規則ニ於テ別ニ没收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一 法律ニ於テ禁制シタル物件

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件

三 犯罪ニ因テ得タル物件

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ没收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ没收スルヲ得ス

第四節 徵價處分

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ

以テ之ヲ定ム

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラルト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カル、トヲ得ス

第四十七條 裁判費用贓物ノ還給賠償ハ被害者請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ民事ノ定規ニ從ヒ之ヲ審判スルトヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ所有者ニ還付ス

第四十八條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶ヒシム

第五節 刑期計算

第四十九條 刑期ヲ計算スルニ一日ト稱スル

ハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日

ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放

免ノ日ハ刑期ニ算入セス

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ

之ヲ執行スルヲ得ス

第五十一條 刑期ハ裁判確定シ本犯ノ自由ヲ

停止シタル日ヨリ起算ス

若シ糾問中入監シタル者ハ左ノ區別ニ從テ

其日數ヲ刑期ニ算入ス

一 輕禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ四分ノ三

二 重禁錮ニ該ル者ハ入監日數ノ半

三 重罪ニ該ル者入監日數ノ三分ノ一

第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就ク者

ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算

ス

第六節 假出獄

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者

獄則ヲ謹守ニ悛改ノ状アル時ハ其刑期四分

ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ

出獄ヲ許スヲ得

無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ヲ經過ス

ルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スル

ノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サル、ト

雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル時ハ自ラ沼

産ノ禁ヲ免シタル者トス但本刑期限内特別

ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタ

ル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ

刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十七條 刑期間更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル

者ハ假出獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ適レタル者法律ニ定

メタル期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除

ヲ得

一死刑ハ三十年

二無期徒刑ハ二十五年

三有期徒刑ハ二十年

四重懲役重禁獄ハ十五年

五輕懲役輕禁獄ハ十年

六禁錮罰金ハ七年

七拘留料料ハ一年

第六十條 剝奪公權停止公權及ニ監視ハ期滿

免除ヲ得ス

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制品ハ

期滿免除ノ限ニ在ラス

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル

日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ニ逃走シタル

時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ闕席裁判ニ係ル

時ハ宣告ノ日ヨリ起算ス

若シ逮捕ヲ命ニタル時ハ捕縛状ヲ出シタル

日ヨリ起算ス

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮捕

ニ命ニタル時ハ最終ノ捕縛状ヲ出シタル

期滿免除ヲ起算ス

第八節 復権

第六十三條 公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑

ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情

状ニ因テ將來ノ公權ヲ復スルヲ得

主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタ

ル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後亦全シ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直

テニ復権ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ

赦状中ニ記載スルニ非サレハ復権ヲ得ス

赦ニ因テ復権ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シ

タル者トス

第六十五條 復権ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可

カラス

第三章 加減例

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ

時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減

ス但加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重懲役

五輕懲役

第六十八條 國事ニ関スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期流刑

四重禁獄

五輕禁獄

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ

二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ

一等ト爲ス

輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五

年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ

各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ

減スルヲ以テ一等ト爲シ其加重ス可キ時モ

亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ二等ト爲ス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁

錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處
シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰
金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五
錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ
得

第七十二條 拘留科料ニ該ル者加減ス可キ時ハ
禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スル
ヲ以テ一等ト為ス
違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但
拘留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一
日以下ニ降スヲ得ス
科料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シ
テ五錢以下ニ降スヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期
限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄
ス

第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ
其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト
為ス若シ減盡シタル時ハ止テ主刑ニ科ス

第四章 不論罪及ニ減輕
第一節 不論罪及ニ宥恕減輕

第七十五條 抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其
意ニ非サルノ所為ハ其罪ヲ論セス
天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危
難ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身軀ヲ防衛スル
ニ出タル所為亦同シ

第七十六條 本属長官ノ命令ニ従ヒ其職務ヲ以テ為シタル者ハ其罪ヲ論セス

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所為ハ其罪ヲ論セス但法律ニ於テ別ニ疎虞懈怠ノ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

罪ト為ル可キ事實ヲ知ラスニテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス
罪本重カル可クニテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ従テ論スルヲ得ス

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト為スヲ得ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル者ハ其罪ヲ論セス

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八歳以上ノ者ハ情状ニ因リ滿十六歳ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所為是非ヲ辨別シタルト否トヲ審案ニ辨別ナクニテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ滿二十歳ニ過キサル間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ

減ス

第八十二條 瘡腫者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ五年ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖モ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス 滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ宥恕ニテ一等ヲ減ス十二歳ニ滿サル者及セ瘡腫者ハ其罪ヲ論セス

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不諭罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ

於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス 但謀故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減輕ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情
狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スル
ヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者
ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スル
ヲ得

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又
ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者
再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタ
ル者ハ再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加

フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル

者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ
但一年內再ニ其違警罪裁判所ノ管轄内ニ於

テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スル
ヲ得ス

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後
ニ非サレハ之ヲ論スルヲ得ス

第九十五條 刑期限内再ニ罪ヲ犯スニ因リ刑
ヲ宣告シタル時ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者

ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初
犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共

ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ

者ヲ執行ス
其罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ラス各自ニ
之ヲ徴収ス

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ處決ヲ經タ
ル者再々重罪輕罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ罪
常律ニ從ヒ處断シタル者ニ非サレハ再犯ヲ
以テ論スルヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再
ニ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルヲ得
ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法
ニハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序

第九十九條 犯罪ノ情状ニ因リ總則ニ照シ同
時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ
從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減
等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ
其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

一 再犯加重

二 宥恕減輕

三 自首減輕

四 酌量減輕

第七章 數罪俱發

第一百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪
以上俱ニ發スル時ハ一ノ重キニ從テ處断ス
重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑

期ノ等キ者ハ定役アル者ヲ以テ重ト為ス
輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷
ス

第百一條 違警罪ニ罪以上俱ニ發スル時ハ各
自ニ其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發
スル時ハ一ノ重キニ從フ

第百二條 一罪前ニ發シ己ニ判決ヲ經テ餘罪
後ニ發シ其輕ク若クハ等キ者ハ之ヲ論セス
其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後
發ノ刑ニ算入ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ
己ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ
折算シテ後發ノ刑期ニ算入ス

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト

雖モ其沒收及ヒ徵價ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯

第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆
正犯ト為シ各自ニ其刑ヲ科ス

第百五條 詐欺脅迫贈與結約威權其他故意ヲ
以テ人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者
亦正犯ト為ス

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス
可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホス
テ得ス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ
時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト為ステ得ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當
 リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ
 犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示
 シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆
 者ヲ處断ス
 一所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止メ其指
 定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス
 二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ
 所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 從犯

第百九條 犯罪ノ情ヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ
 誘導指示シ其他豫備ノ所為ヲ以テ正犯ヲ幫
 助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト為

シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯
 ト為ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ
 從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ減免スルトヲ得ス

第九章 未遂犯罪

第百十一條 罪ヲ犯サントシテ謀リ又ハ其豫備
 ヲ為スト雖モ未メ其事ヲ行ハサル者ハ本條
 別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ
 ス

第百十二條 重罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ
 行フト雖モ本犯意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因
 リ未メ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ

一等又ハ二等ヲ減ス

第一百十三條 輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ前條ノ例ニ照シ其罪ヲ論スルヲ得ス

第一百十四條 違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其刑ヲ科セス

第十章 親屬例

第一百十五條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載ニタル本宗及ヒ姻族ノ親ヲ云フ但本條別ニ親屬ノ目ヲ掲ケタル者ハ此限ニ在ラス

一 夫婦 祖父母 父母

二 配偶者ノ祖父母 父母

三 子孫 及ヒ其配偶者

四 兄弟姉妹 伯叔父 姑舅姨姪甥 及ヒ其配偶者

五 配偶者ノ兄弟姉妹 伯叔父 姑舅姨甥

六 婦ノ前夫子

第二編 公益ニ関スル重罪輕罪

第一章 皇室ニ對スル罪

第百十六條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第百十七條 天皇皇后及ヒ皇太子ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所為アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内乱ニ關スル罪

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルヲ目的ト為シ内乱ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處断ス
一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス
二 群衆ノ指揮ヲ為シ其他樞要ノ職務ヲ為シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シタル者又ハ諸般ノ職務ヲ為シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

四 教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第百二十二條 内乱ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内乱ヲ起シタル者ト同刑ニ處ス

第百二十三條 政府ヲ変乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ挙ルニ至ラスト雖モ内乱ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

第二百二十四條 前三條ニ記載シタル罪ハ未遂
犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

第二百五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵若金穀ヲ
準備シ其他内乱ノ豫備ヲ為シタル者ハ第百

二十一條ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス
其豫備ニ至ラズシテ内乱ノ陰謀ヲ為シ未^ル必豫備ニ至ラサル者ハ

各二等ヲ減ス
第二百十六條 内乱ノ豫備又ハ陰謀ヲ為スト

雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首
シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ

監視ニ附ス
第二百十七條 内乱ノ前後ニ於テ情ヲ知テ犯
人ニ聚會所ヲ与ヘ又ハ犯人ヲ隱匿シタル者

ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ処ス但犯人
ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第二百十八條 内乱ニ乘シテ人ノ身躰財産ニ
對シ内乱ノ目的ニ関セサル重罪輕罪ヲ犯シ

タル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ処断ス
第二節 外患ニ関スル罪

第二百十九條 外國ニ与シテ本國ニ抗敵シ又
ハ外國ノ交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ

背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ処ス
第三百十條 交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管内

ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城
塞又ハ兵若彈藥船艦其他軍事ニ関スル土地

家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ処
ス

川本卓 法律博士

元案通

ス

第三百十一條 本國及び同盟國ノ軍情機密ヲ
敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道
路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑
ニ処ス

敵國ノ間諜ヲ内地ニ誘導シ又ハ之ヲ藏匿シ
タル者ハ又同シ

第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ
供給シ及ヒ工作ヲ為ス者交戦ノ際敵國ニ通
謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ故サラニ命令ニ
違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑
ニ処ス

第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタ

ル者ハ有期流刑ニ処ス其豫備ニ止ル者ハ一
等又ハ二等ヲ減ス

第三百十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外
中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者
ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ処シ十圓以
上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百十五條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕
罪ノ刑ニ処スル者ハ六月以上二年以下ノ監
視ニ付ス

第三章 靜謐ヲ害スル罪

第一節 兇徒聚衆ノ罪

第三百十六條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀
リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサ

ル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ
重禁錮ニ処ス其餘ノ附従ハ二圓以上五圓以
下ノ罰金ニ処ス

第百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧
鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴
動ヲ為シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ
処ス其嘯聚ニ志シ煽動シテ勢ヲ助ル者ハ輕
懲役ニ処シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨
行スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ処
ス

第百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家
屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下
シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ以テ死刑ニ処ス首魁及

ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者ハ同刑ニ処ス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル
罪

第百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ
執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スル
ニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル
者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ処シ五圓
以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ為ス可カラサル事
件ヲ行ハシメタル者亦同シ

第百四十條 前条ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷
シタル者ハ毆打創傷ノ各本条ニ照シ一等ヲ
加ヘ重キニ從テ処断ス

第百四十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖画又ハ公然ノ演説ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

第百四十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ為シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス但無期徒刑ノ囚徒此條ノ罪ヲ犯シ

タル時ハ獄則ニ依テ処分ス

第百四十三條 已決囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ノ例ニ照シ加重ス可カラズ其刑期内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

第百四十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第百四十二條ノ刑ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シ処断ス

第百四十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第百四十二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル為メ兇器其他ノ器具ヲ与ヘ又ハ逃走ノ方法ヲ授ケタ

ル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ処シ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚テ囚徒
ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

第百四十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ
以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五
年以下ノ重禁錮ニ処シ五圓以上五十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ処セラレタル囚徒ニ係ル時
ハ輕懲役ニ処ス

第百四十八條 囚徒ノ看守又ハ護送ノ任アル
者囚徒ニ通謀シ若シハ故意ヲ以テ逃走セシ
メタル時ハ前條ノ刑ニ同シ
第百四十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯

サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例
ニ照シテ處断ス

第百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚
徒ノ逃走ヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以
下ノ罰金ニ処ス

若シ重罪ノ刑ニ処セラレタル囚徒ニ係ル時
ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ処ス

第百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監
視ニ付セラレタル者ナルヲ知テ故意ヲ以テ
之ヲ藏匿シ若シハ隱避セシメタル者ハ十一
日以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ二圓以上二
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ処セラレタル囚徒ナルヲ

知テ藏匿シ又ハ隠避セシメタル時ハ一等ヲ加フ

第百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメンテヲ因リ其罪證ト為ル可キ物件ヲ隠蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ処シ二回以上二十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十三條 前二条ノ罪ヲ犯シタル者若シ本犯ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ルノ罪

第百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ二回以上十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ処ス

第百五十六條 前二条ノ罪ハ其刑期内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

第五節 私ニ兵器彈藥ヲ製造シ及ヒ所
有スル罪

第百五十七條 官命ヲ受ス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル兵器彈藥ヲ製造シ又ハ私ニ製造ス可カラサル破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処シ二十回以上二百回以下ノ罰金ヲ附加ス

其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ十回以上百回以下ノ罰金ヲ附加ス

第百五十八條 前条ノ犯罪ニ関スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止夕正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百五十九條 前二条ノ罪ヲ犯サントシテ未夕遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ処断ス

第百六十条 第百五十七条ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二回以上二十回以下ノ罰金ニ処ス

第百六十一條 第百五十七条ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ単ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ニ係ルヲ問ハス皆之ヲ没收ス

第六節 往来通信ヲ妨害スル罪

第百六十二條 故意ヲ以テ道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往来ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処シ二回以上二十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第百六十三條 偽計又ハ威カヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ前条ノ刑ニ同シ

第百六十四條 故意ヲ以テ電信ノ器械柱木ヲ

損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五回以上五十回以上ノ罰金ヲ附加ス若シ苦楲柱木等ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ為スト雖モ不通ニ至ラサル者ハ一等ヲ減ス

第百六十五條 凜車ノ往來ヲ妨害スル為メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障碍ヲ為シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル為メ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損害シ又ハ詐偽ノ標識ヲ点示シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第百六十七條 前數條ニ記載シタル罪若シ其

事務ニ関スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第百六十八條 第百六十二條ニ記載シタル罪ヲ犯シ囚テ人ヲ殺傷シタル者ハ豫メ謀テ殴打創傷スルノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第百六十九條 第百六十五條第百六十六條ノ罪ヲ犯シ囚テ凜車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

第百七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七節 官署及ヒ人ノ住居ヲ侵ス罪

第百七十一條 晝間故ナク官署及ヒ人ノ住居

シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入

リタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ

処ス

若シ左ニ記載シタル所為アル時ハ一等ヲ加

フ

一 門戸牆塼ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ

入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ持シ

タル時

三 暴行ヲ為シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

第百七十二條 夜間故ナク官署及ヒ人ノ住居

シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入

リタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所為アル

時ハ一等ヲ加フ

第百七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及

ヒ山陵内ニ入りタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ

各一等ヲ加フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

第百七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋

倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタ

ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

第百七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ

盜取又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ビ毀壞ノ各
本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第百七十六條 監守者懈怠ニ因テ封印ヲ破棄
シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺
ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第百七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要
求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ之ヲ肯
ニセサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ
處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第百七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セラル可
キ者身躰ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽

ノ所為ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上
一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其姓名ヲ詐稱シ代テ徵募
ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受テ徵募
ニ應シタル者ハ第百二十九條ノ例ニ照シ
テ處斷ス

第百七十九條 醫師化学家其他職業ニ因テ官
署ヨリ解剖鑑定又ハ検査ヲ為スルヲ命セラ
レタル者故ナクシテ之ヲ肯ニセサル時ハ四
圓以上四十圓以下ノ罰金處ス

第百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳
述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ

肯ニセサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナリシテ之ヲ肯ニセサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章 一般ノ信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ其價額量目ヲ増減シ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造若シハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處断ス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行

使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ六月以上二年

以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽

造變造已ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑

ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ各二

等ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサル

者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知

テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル

本犯ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ為シテ雜役ニ供シタル者

ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知

テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑

ニ照シ二等ヲ減ス

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入

シタル者ハ偽造變造ノ本犯ト同ク論ス

第百九十條 情ヲ知テ偽造變造ノ貨幣ヲ收受

シテ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタ

ル者ノ刑ニ照シ二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ

輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ

監視ニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取
 受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自
 首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下
 ノ監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給共シタル者未タ
 行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ
 免シ監視ニ付セス

第百九十三條 貨幣ヲ收受スルノ後ニ於テ始
 テ偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シタ
 ル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ
 二圓以下ニ降スコトヲ得ス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第百九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽
 ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽
 印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條 產物高品等ニ押用スル官ノ記
 號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者
 ハ輕懲役ニ處ス

書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造
 シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三
 年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百九十七條 御璽國璽官印及ヒ記號印章ヲ
 盜用シタル者ハ前三條ニ記載シタル偽造ノ
 刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十八條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前條ノ刑ニ同シ

第百九十九條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界

紙及ヒ郵便切手ヲ偽造シ又ハ其偽造品ヲ使

用シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ

處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵

便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十

圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン

トシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照

シテ處断ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

第二百二條 官ノ文書ヲ偽造シテ行使シタル

者ハ輕懲役ニ處ス

官ノ文書ニ記載シタル條件及ヒ年月日姓名

ヲ變換シテ行使シタル者亦同シ

第二百三條 官吏其職務ヲ以テ文書ヲ記載ス

ルニ當リ故サラニ事實及ヒ年月日姓名ヲ變

換脱漏シタル者ハ重懲役ニ處ス

已ニ記載シタル文書ヲ増減變換シ又ハ毀棄

シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シ

タル文書ヲ偽造若クハ變換シテ行使シタル

者ハ官ノ文書ト同シ論ニ前二條ノ例ニ照シ
テ處断ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加
フ

第二百五條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印
ノ偽造又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本
條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

第二百六條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタ
ル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五
回以上五十回以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ他人ノ私印又ハ印影ヲ盜用シタル者ハ
前項ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス

第二百七條 為替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス
可キ證書又ハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ
偽造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス
手形証書ニ記載シタル金額姓名年月日土地
其他書中ノ條件ヲ變換シ又ハ詐偽ノ裏書ヲ
為シテ行使シタル者亦同シ

第二百八條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務
ニ関スル證書ヲ偽造若シハ變換シテ行使シ
タル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ
四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
其餘ノ私書ヲ偽造若シハ變換シテ行使シタ
ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二
回以上二十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サン
トシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ヲ例ニ照
シテ處断ス

第二百十條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪
ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視
ニ付ス

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造
スル罪

第二百十一條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ
行使シタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮
ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
但官印ヲ偽造又ハ盗用シタル時ハ偽造官印
ノ各本條ニ照シテ處断ス

第二百十二條 屬籍身分姓名ヲ詐稱シ其他詐
偽ノ所為ヲ以テ免狀鑑札ヲ受タル者ハ十五
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二回以上二
十以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ
一等ヲ加フ

第二百十三條 公務ヲ免カル可キ為メ醫師ノ
姓名ヲ用ヒ疾病ノ証書ヲ偽造シテ行使シタ
ル者ハ自己ノ為メニ他人ノ為メニスルヲ
分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三
回以上三十回以下ノ罰金ヲ附加ス
醫師囑託ヲ受テ其詐偽ノ証書ヲ造リタル者
ハ一等ヲ加フ

第二百十四條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ為メ疾病ノ証書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受テ其詐偽ノ証書ヲ造リタル醫師ハ前条ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十五條 免状鑑札及ヒ疾病ノ証書ヲ記載シタル條件ヲ變換シテ行使シタル者ハ前数條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ同シ

第六節 偽証ノ罪

第二百十六條 刑事ニ関スル証人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル為メ事實ヲ掩蔽シテ故サテニ偽証ヲ為シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處断ス
一 重罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ二月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 輕罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ヲ曲庇スル為メ偽証シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處断ス

第二百十七條 偽証ノ為メ被告人適當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽証者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十八條 被告人ヲ陷害スル為メ故サテニ偽証ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處断ス

一重罪ニ陥ラシムル為メ偽証シタル者ハ二
年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上
五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陥ラシムル為メ偽証シタル者ハ六
月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上
四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陥ラシムル為メ偽証シタル者ハ
一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以
上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十九條 偽証ノ為メ被告ノ刑ニ處セラ
レタル後ニ於テ偽証ノ罪發覺シタル時ハ偽
証者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記
載シタル偽証ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ刑ニ

処ス

其刑期限内ニ於テ偽証ノ罪發覺シタル時ハ
現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ
減スルヲ得但減シテ前條偽証ノ刑ヨリ降
スヲ得ス

第二百二十條 偽証ノ為メ被告ノ死刑ニ處セ
ラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑
ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等
ヲ減ス
若シ被告人ヲ死ニ陥ルノ目的ヲ以テ偽証ヲ
為シタルノ証アル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ
刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一
等ヲ減ス

第百二十一條 民事商事又ハ行政裁判ニ関
シテ偽証ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下
ノ重禁錮ニ処シ五圓以上五十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

第百二十二條 監定又ハ通辨ノ為メ裁判所
ニ呼出サレ詐偽ノ陳述ヲ為シタル者亦前數
條ニ記載シタル偽証ノ例ニ照シテ處断ス

第百二十三條 偽証又ハ詐偽ノ監定通辨ヲ
為シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前
ニ於テ自首シタル時ハ其罪ヲ免ス

第百二十四條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ
囑託シテ偽証又ハ詐偽ノ監定通辨ヲ為サシ
メタル者亦偽証ノ刑ニ同シ

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第百二十五條 度量衡ヲ偽造又ハ變造シテ
其定規ヲ増減シ之ヲ販賣シタル者ハ二年以
上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造
又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照
シ重キニ從テ處断ス

第百二十六條 偽造變造ノ情ヲ知り其度量
衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ
減ス

第百二十七條 商賈工匠定規ヲ増減シタル
度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第二百二十八條 人ノ囑託ヲ受テ度量衡ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ本犯ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百二十九條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分姓名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罪金ニ處ス

第二百三十條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勲章ヲ借用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十一條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十二條 投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル任アル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十三條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章 一般ノ健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ヲ販賣スル罪

第二百三十四條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又

ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

税関ノ官吏情ヲ知テ阿片烟ヲ輸入セシメタ

ル者ハ一等ヲ加フ

第二百三十五條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ

輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ

重懲役ニ處ス

第二百三十六條 阿片烟ヲ吸食スル為メ房屋

ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦

同シ

第二百三十七條 現ニ阿片烟ヲ吸食シタル者

ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所

有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下

ノ重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百三十九條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚

穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメ

タル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處

シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用

ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十一條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本条ニ照シ重キニ從テ處断ス

若シ人ヲ殺スノ意ニ出タル者ハ毒殺ヲ以テ論ス

第三節 傳染病豫防規則ニ関スル罪

第二百四十二條 船舶入港ノ際傳染病豫防ノ為メニ一時禁止シタル規則ニ背キテ上陸又ハ物品ノ陸揚ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十三條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又

ハ人ノ犯スヲ知テ禁止セサル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百四十四條 傳染病流行ノ際ニ當リ豫防

規則ニ背キテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十五條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ背キテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ関スル罪

第 二 百 四 十 六 條 官 許 可 得 ス シ テ 危 害 ヲ 生 ス
可 キ 物 品 ノ 製 造 所 ヲ 創 設 シ タ ル 者 ハ 二 十 圓
以 上 百 圓 以 下 ノ 罰 金 ニ 處 ス
若 シ 健 康 ヲ 害 ス ヘ キ 物 品 ノ 製 造 所 ヲ 創 設 シ
タ ル 者 ハ 十 圓 以 上 五 十 圓 以 下 ノ 罰 金 ニ 處 ス
第 二 百 四 十 七 條 官 許 ヲ 得 テ 前 條 ニ 記 載 シ タ
ル 製 造 所 ヲ 創 設 ス ト 雖 凡 危 害 ヲ 豫 防 シ 健 康
ヲ 保 護 ス ル 規 則 ニ 背 キ タ ル 者 ハ 前 條 ノ 例 ニ
照 シ 各 一 等 ヲ 減 ス

第 二 百 四 十 八 條 前 二 條 ノ 罪 ヲ 犯 ス ニ 因 テ 人
ヲ 疾 病 死 傷 ニ 致 シ タ ル 時 ハ 過 失 殺 傷 ノ 各 本
條 ニ 照 シ 重 キ ニ 從 テ 處 断 ス

第 五 節 健 康 ヲ 害 ス 可 キ 飲 食 物 及 ビ 藥

劑 ヲ 販 賣 ス ル 罪

第 二 百 四 十 九 條 人 ノ 健 康 ヲ 害 ス 可 キ 物 質 ナ
ル 一 種 ヲ 知 テ 之 ヲ 飲 食 物 ニ 混 和 シ 販 賣 シ タ ル
者 ハ 三 圓 以 上 三 十 圓 以 下 ノ 罰 金 ニ 處 シ 其 物
品 ヲ 没 收 ス

第 二 百 五 十 條 規 則 ニ 背 キ テ 毒 藥 劇 藥 ヲ 販 賣
シ タ ル 者 ハ 五 圓 以 上 五 十 圓 以 下 ノ 罰 金 ニ 處
ス

第 二 百 五 十 一 條 前 二 條 ノ 罰 ヲ 犯 ス ニ 因 テ 人
ヲ 疾 病 死 傷 ニ 致 シ タ ル 時 ハ 過 失 殺 傷 ノ 各 本
條 ニ 照 シ 重 キ ニ 從 テ 處 断 ス

第 六 節 私 ニ 醫 業 ヲ 為 ス 罪

第 二 百 五 十 二 條 官 許 ヲ 得 ス ニ テ 醫 業 ヲ 為 シ タ

ル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ
又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十三條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤
リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ
各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百五十四條 公然猥褻ノ所行ヲ為シタル
者ハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十五條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他
猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者
ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓
以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十六條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又
ハ博徒ヲ紹結シタル者ハ三月以上一年以下
ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

第二百五十七條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ為
シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處
シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ現場
ノ器具財物ヲ沒收ス但戲ニ飲食物ヲ賭スル
者ハ其罪ヲ論セス
情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ

第二百五十八條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利
益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以
上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百五十九條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所行ヲ為シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二回以上二十回以下ノ罰金ニ處ス
若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ一月以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ四回以上四十回以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘

スル罪

第二百六十條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二回以上二十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死

屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十二條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處断ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル

罪

第二百六十三條 偽計又ハ威カラテ穀類其

他衆人ノ需用ニ欲ク可カラサル食用物及ヒ
膏油薪炭ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上
六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ商品賣買ヲ妨害シ
タル者ハ一等ヲ減ス

第二百六十四條 偽計又ハ威カラ以テ糶賣又
ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上二月以
下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰
金ニ附加ス

第二百六十五條 偽計又ハ威カラ以テ農工ノ
業ヲ妨害シタル者ハ二十日以上四月以下ノ
重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第二百六十六條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシ
メ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル為メ雇主
及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威カラ以テ妨害シ
為シタル者ハ前條ノ刑ニ照シ一等ヲ加フ

第二百六十七條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工
業ノ景況ヲ變スル為メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ
對シ偽計威カラ以テ妨害ヲ為シタル者ハ前
條ノ刑ニ同シ

第二百六十八條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類
其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル
者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百六十九條 官吏故意ヲ以テ自己ノ管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セズ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スルノ權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ故サラニ其處分シ為サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十一條 官吏其職務ニ関シタル事ニ於テ商業ヲ為シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス但自己所有地内ノ生産物ヲ販賣スル者ハ商業ヲ為スヲ以テ論スルコトヲ得ス

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十二條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其為ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十三條 人ノ身軀財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ檢事警察官吏其報告ヲ受ケ速ニ保護ノ處分ヲ為サ、ル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上

下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十四條 逮捕官吏法律ニ定メタル程
式規則ヲ守ラスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ
人ヲ拘置シタル者ハ十五日以上三月以下ノ
重禁錮ニ處シ二月以上二十日以下ノ罰金ヲ
附加ス但拘置ノ日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ
加フ

第二百七十五條 司獄官吏其裁判宜告書ヲ檢
視セス又ハ程式規則ヲ守ラスシテ囚人ヲ拘
置シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ命ヲ受
ケ及ヒ刑期滿限ノ時ニ至リ之ヲ放免セサル
者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百七十六條 前二條ノ官吏又ハ護送人囚
人ニ對シ苛刻ノ所為ヲ施シ若クハ傷害ヲ加
ヘタル時ハ第三百二十條第三百二十一條第
三百二十二條ノ例ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ
從テ處断ス

第二百七十七條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被
告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル為メニ暴行
ヲ加ヘ又ハ凌辱ノ所為アル者ハ三月以上三
年以下ノ重禁錮ニ處シ十円以上五十円以下
ノ罰金ヲ附加ス
若シ被告人ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ毀打創傷
ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断
ス

第二百七十八條 裁判官故ナクシテ民事刑事

ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ処シ五圓以下止五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十九條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ処分ヲ為シタル者ハ一等ヲ加フ
第二百八十條 裁判官民事ノ裁判ニ関シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百八十一條 裁判官檢察官吏及ヒ參座刑事ノ裁判ニ関シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之

ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ処シ十圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ処シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ其在斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百十九條第二百二十條ノ例ニ照シテ又坐ス

第二百八十二條 裁判官檢察官吏及ヒ參座賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又

ハ怨ヲ狹サニ故サラニ被告人ヲ罪ニ出入ニ
タル者ハ前条ニ記載シタル曲庇陷害ノ刑ニ
処ス

第二百八十三條 前數條ニ記載シタル賄賂已
ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者
ハ其價ヲ追徴ス

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十四條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀
物件ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ刑ニ照シ二等
ヲ加フ

若シ此罪ヲ犯スニ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減
交換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百三條ノ例
ニ照シテ處斷ス

第二百八十五條 監守ニ非サル官吏其官署ニ

屬スル金穀物件ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ刑
ニ照シ一等ヲ加フ

第二百八十六條 租稅其他諸收ノ入額ヲ徵收

スル任アル官吏故サラニ正數外ノ金穀ヲ徵
收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ
処シ五回以上五十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百八十七條 此節ニ記載シタル罰ヲ犯シ
タル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三編 身軀財產ニ對スル重罪輕罪

第一章 身軀ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百八十八條 豫ノ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ処ス

第二百八十九條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ以テ論シ死刑ニ処ス

第二百九十條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ処ス

第二百九十一條 支解折割其他慘刻ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ処ス

第二百九十二條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人

ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ処ス

第二百九十三條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘

導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ

以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十四條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ

殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

第二節 殴打創傷ノ罪

第二百九十五條 人ヲ殴打創傷シ因テ死ニ致

シタル者ハ重懲役ニ処ス

第二百九十六條 人ヲ殴打創傷シ其兩目ヲ瞎

シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ断チ

陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ

篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ処ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其

他身體ヲ殘虧シ廢疾ニ致シタル者ハ二年以

上五年以下ノ重禁錮ニ処ス

第二百九十七條 人ヲ殴打創傷シ二十日以上

ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサ

ルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ

重禁錮ニ処ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ処ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シ

タル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ処

第二百九十八條 豫メ謀テ人ヲ殴打創傷シ休

業癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百九十九條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為ノ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為ノ人ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ同シ但強盜人ヲ死傷ニ致シタル者ハ強盜ノ本條ニ從

第三百條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

第三百一條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルテ能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照

シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百二條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

第三百三條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ刑ニ照シテ處断ス

第三百四條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ故サラニ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ其豫メ謀ルト否トヲ區別シ毆打創傷ノ刑ニ照シテ處断ス

第三節 殺傷ニ関スル宥恕及ヒ不論罪

第三百五條 自己ノ身軀ニ暴行ヲ受ルニ因リ
直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其
罪ヲ宥恕ス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行ヲ
招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百六條 人ノ暴行ヲ受ルヲ見テ直チニ怒
ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ情狀ニ因リ
其罪ヲ宥恕スルヲ得

第三百七條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下ス
ノ先後ヲ知ルヲ能ハサル者ハ谷本刑ヲ宥恕
スルヲ得

第三百八條 本夫其婦ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ
於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ
其罪ヲ宥恕ス但先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ

此限ニ在ラス

第三百九條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅
ニ入り若クハ踰越損壞セントスル者ヲ防止
スル為メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

第三百十條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ
罪ハ谷本刑ニ照シニ等又ハ三等ヲ減ス

第三百十一條 身軀生命ヲ正當ニ防衛シ已ム
ヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ
自己ノ為メニ他人ノ為メニスルヲ分タス
其罪ヲ論セス但不正ノ所為ニ因リ自ラ暴行
ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十二條 左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サ
ルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

一 動産不動産ニ對シ暴行ヲ為ス者又ハ動産
不動産ニ放火スル者ヲ防止スルニ出タル
時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル
時

三 夜間故ナリ人ノ住居シタル邸宅ニ入り若
クハ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル
時

第三百十三條 身躰財産ヲ防衛スルニ出ルト
雖モ已ムコトヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人
ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ
乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪
ノ限ニ在ラス但第三百十條ノ例ニ照シ其罪

ヲ宥恕ス

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十四條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守
セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二月
以上一年以下ノ輕禁錮ニ処シ又ハ十圓以上
百圓以下ノ罰金ニ処ス

第三百十五條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱篤疾
ニ致シタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮
ニ処シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ処
ス

第三百十六條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業
ニ至ラシメタル者ハ十一日以上二月以下ノ
輕禁錮ニ処シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ニ処ス

第五節 自殺ニ関スル罪

第三百十七條 人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者又ハ囑託ヲ受テ自殺人ノ為メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ処シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百十八條 自己ノ利慾ヲ逞スルノ意ニ出テ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百十九條 擅ニ現行犯ニ非サル人ヲ逮捕シ又ハ擅ニ人ヲ私家ニ監禁シタル者ハ十一

日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

第三百二十條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十一條 前條ノ罪ヲ犯スニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業癱篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處断ス

第三百二十二條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタ

ル者亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十三條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ其住居スル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財產ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百二十五條 親屬ニ害ヲ被ラシム可キ事

ヲ以テ脅迫シタル者ハ直チニ本人ニ對シ脅迫シタルノ罪ト同ク前二條ノ例ニ照シテ処断ス

第三百二十六條 前數條ノ罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪

第三百二十七條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二十八條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ前條ノ刑ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二十九條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十條 懷胎ノ婦女ヲ威逼又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其故サラニ墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十三條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス自ラ生活スルヲ能ハサル老者疾病者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第三百三十四條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十五條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百三十六條 幼者老疾者ヲ遺棄シテ之ヲ癡疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致

シタル者ハ重懲役ニ處ス因テ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百三十七條 自己ノ所有地又ハ管守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ覺知シテ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス若シ疾病ニ罹リ前項ノ地内ニ昏倒スル者アルヲ覺知シテ扶助又ハ申告セサル者亦同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百三十八條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ

二十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百三十九條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ又ハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家属僕婢ト為シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ畧取誘拐ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十一條 前數條ニ記載シタル畧取誘

拐ノ罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ為シタル時ハ其罪ヲ論セス
第三百四十二條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シ因テ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十三條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ為シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第三百四十四條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ

暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ為シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十五條 十二歳以上ノ婦女ニ對シテ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス

方畧ヲ用ヒテ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百四十七條 前數條ノ罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三百四十八條 前數條ノ罪ヲ犯スニ因テ人

ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ人ヲ癡篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百四十九條 自己ノ利益ヲ圖リ十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

有夫姦ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス若シ本夫先キニ其姦ヲ縱易害シタル者ハ告訴ノ効

十三

第三百五十一條 配偶者アル者重ネテ婚姻ヲ為シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五回以上五十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十二條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百十八條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十三條 誣告ヲ為スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メカル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ其罪ヲ論セス

第三百五十四條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラルタル時ハ第二百十九條第二百二十條ニ

記載シタル例ニ照シテ誣告者ヲ又坐ス

第三百五十五条 悪事醜行ヲ摘発シテ人ヲ誹

毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハズ左ノ例ニ

照シテ処断ス

一公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十

一日以上三月以下ノ重禁錮ニ処シ二回以

上十日以下ノ罰金ヲ附加ス

二書類画圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シ

テ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以

下ノ重禁錮ニ処シ三回以上三十日以下ノ

罰金ヲ附加ス

第三百五十六条 死者ヲ誹毀シタル者ハ故サ

ラニ誣罔ニ出タルニ非サレハ前条ノ例ニ照

シテ処断スルヲ得ス

第三百五十七条 醫師藥商徳婆又ハ代言人代

書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託

ヲ受ケタル事ニ因テ知得タル陰私ヲ故サラ

ニ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以

上三月以下ノ重禁錮ニ処シ二回以上十日以

下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受テ事

實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

第三百五十八条 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪

ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其

罪ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第三百五十九条 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故

殺シタル者ハ死刑ニ処ス
其自殺ニ関スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ
加フ

第三百六十条 子孫其祖父母父母ヲ毆打創傷
シ若クハ其健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シ其
他監禁脅迫及ヒ遺棄誣告誅毀等ノ罪ヲ犯シ
タル者ハ各本条ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照
シ二等ヲ加フ但瘵疾ニ致シタル者ハ有期徒
刑ニ処シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ処
シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ処ス

第三百六十一条 子孫其祖父母父母ニ對シ衣
食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ缺ク者ハ
十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ処シ五回以

上二十四以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病ニ罹リ及ヒ瘵篤疾又ハ死ニ致シタ
ル者ハ前条ノ例ニ同シ

第三百六十二条 祖父母父母ニ對シタル殺傷
ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フル
ヲ得ズ但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在
ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十三条 人ノ所有物ヲ竊取シタル者
ハ竊盜ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁
錮ニ処ス

第三百六十四条 水火震災其他非常ノ變ニ乘

シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ処ス

第三百六十五條 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ前条ノ刑ニ同シ

第三百六十六條 二人以上前数条ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百六十七條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居ニタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ処ス

第三百六十八條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命ニ因リ他人ヲシテ管守セシメタル時之ヲ竊取シタル者

ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百六十九條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ処ス

第三百七十條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川沢池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ関シタル產物ヲ竊取シタル者ハ前条ノ刑ニ同シ

第三百七十一條 牧場ニ於テ牧養ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処ス

第三百七十二條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例

ニ照シテ処断ス

第三百七十三條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
輕罪ノ刑ニ処スル者ハ六月以上二年以下ノ
監視ニ付ス

第三百七十四條 夫婦祖父母父母子孫及ヒ其
配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ窃
取シタル者ハ窃盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラ
ス

若シ他人其共犯ト為テ財物ヲ分チタル者ハ
窃盜ヲ以テ論ス

第二節 強盜ノ罪

第三百七十五條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘ
テ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト為シ輕

懲役ニ処ス

第三百七十六條 強盜左ニ記載スル情状アル
者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ

一 二人以上共ニ犯シタル時

二 兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

第三百七十七條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期
徒刑ニ処シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ処ス

第三百七十八條 強盜ヲ犯シ因テ強姦シタル
者ハ無期徒刑ニ処ス

第三百七十九條 窃盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク
為メ臨時暴行脅迫ヲ為シタル者ハ強盜ヲ以
テ論ス

第三百八十條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ

テ其財物ヲ奪取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ
輕懲役ニ処ス

第三百八十一条 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ処スル者ハ六月以上
二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物理藏物ニ関スル罪

第三百八十二条 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得
テ隱匿シ本主ニ還付セズ又ハ官署ニ申告セ
ザル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ処
ス又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十三条 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏
ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ前条ノ刑ニ
同シ

第三百八十四条 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
タル者第三百七十四条ニ掲ケタル親屬ニ係
ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十五条 家資分散ノ際ニ於テ其財產
ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル
者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介
ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十六条 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏
匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人
又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害
シタル者ハ一年以上二年以下ノ重禁錮ニ處

ス

第五節 詐欺取財及ヒ受寄財物ニ関スル罪

第三百八十七條 人ヲ欺罔又ハ恐喝シテ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ此條ノ罪ヲ犯ス者メ官私ノ文書ヲ偽造交換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

第三百八十八條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百八十九條 物件ヲ欺賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若シクハ分量ヲ偽テ又ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ欺賣交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
自己ノ不動産ヲ欺賣シテ己ニ抵當典物ト爲シタル者欺罔シテ他人ニ賣與シ又ハ童子ヲ欺當典物ト爲シタル者亦同シ

第三百九十一條 本條條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監禁ニ付ス

第三百九十二條 寄寄ノ財物及ヒ借用物又ハ典物其他委託ヲ受タル金額物件ヲ費用シタ

ル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若
シ騙取掃帚其他詐欺ノ成爲アル者ハ詐欺屆
財ヲ以テ論ス

第三百九十三條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官
署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者
ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但忠實
勤教ノ際ニ於テ此罪ヲ犯シタル者ハ第三百
八十五條ノ例ニ照シテ處断ス

第三百九十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サ
ントシテ未タ遂ケザル者ハ未遂犯罪ノ例ニ
照シテ處断ス

第三百九十五條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
タル者第三百七十四條ニ掲ケタル親屬ニ係

ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節 贓物ニ関スル罪

第三百九十六條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ
之ヲ受ケ又ハ寄藏故買若クハ牙保ヲ為シタ
ル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ処シ三
円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス
此條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下
ノ監視ニ付ス

第三百九十七條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ関シ
タル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故
買若クハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上一
年以下ノ重禁錮ニ処シ二月以上二十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第三百九十八條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ焼燬シタル者ハ死刑ニ処ス

第三百九十九條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他建造物ヲ焼燬シタル者ハ無期徒刑ニ処ス

第四百條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ焼燬シタル者ハ重懲役ニ処ス

第四百一條 火ヲ放テ人ヲ乗載シタル船舶瀛車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ処ス

其人ヲ乗載セサル船舶瀛車ニ係ル時ハ重懲役ニ処ス

第四百二條 火ヲ放テ山林ノ草木田野ノ穀麥

又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ処ス

第四百三條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処ス

第四百四條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ処スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百五條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ

処シ又ハ二円以上二十円以下ノ罰金ニ処ス

第四百六條 火藥其他^激炎^激奈^激ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ建造物船舶

等ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分テ放火失火ノ例ニ照シテ処断ス

第八節 決水ノ罪

第四百七條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ流失シタル者ハ無期徒刑ニ処ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他建造物ヲ流失シタル者ハ重懲役ニ処ス

第四百八條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田畝礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百九條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル為メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重懲罰ニ処シ二月以上二十日以下ノ罰金

ヲ附加ス

第四百十條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處断ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

第四百十一條 衝突其他ノ所為ヲ以テ故サラニ人ヲ乗載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死セキ時ハ無期徒刑ニ處ス

第四百十二條 前條ノ所為ヲ以テ人ヲ乗載セサル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第十節 家屋物品及ヒ動植物ヲ毀壞殘害スル罪

第四百十三條 故意ヲ以テ人ノ家屋其他建造

物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上五十円以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本条ニ照シ重キニ從テ処断ス

第四百十四條 故意ヲ以テ人ノ家屋ニ屬スル

牆塙及ヒ園池ノ裝飾又ハ田畝ノ樊圍牧場ノ

柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下

ノ重禁錮ニ處シ又ハ二円以上二十円以下ノ

罰金ニ處ス

第四百十五條 故意ヲ以テ人ノ稼穡竹木其他

需用ノ植物ヲ毀損又ハ荒殘シタル者ハ十一

日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三円以

上三十円以下ノ罰金ニ處ス

第四百十六條 故意ヲ以テ土地ノ經界ヲ表シ

タル物件ヲ毀壞又ハ移轉シタル者ハ一月以

上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円

以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十七條 故意ヲ以テ人ノ器具物品ヲ毀

棄損壞シテ其用ニ適セサラシメタル者ハ十

一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三円

以上三十円以下ノ罰金ニ處ス

第四百十八條 故意ヲ以テ人ノ牛馬ヲ殺害シ

タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ

二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十九條 故意ヲ以テ前條ニ記載シタル

以外ノ家畜ヲ殺害シタル者ハ二円以上二十
円以下ノ罰金ニ處ス但被害者ハ告訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス

第四百二十條 故意ヲ以テ人ノ權利義務ニ関
スル證書類ヲ毀棄滅^滅盡シタル者ハ二月以上
四年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十^四以下
ノ罰金ヲ附加ス

第四編 違警罪

第四百二十一條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ三日以

上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一円以上一円

九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一 規則ヲ^遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ

物品ヲ市街ニ違搬スル者

二 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ

物品又ハ自ラ火ヲ發スヘキ物品ヲ貯藏シ

タル者

三 官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ之ヲ販

賣シタル者

四 人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火

器ヲ玩ヒタル者

五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理ニ及ヒ
掃除スル規則ヲ遵守セサル者

六 官署ノ督促ヲ肯セズ崩壊セントスル家屋
牆塼ノ修理ヲ為サル者

七 官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

八 自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ
申告セズ又ハ之ヲ他所ニ移シタル者

九 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十 密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其宿所ヲ貸シタル者

十一 一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者

十二 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナク
シテ諸方ニ徘徊スル者

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル為メ偽證シタ
ル者但被告人偽證ノ為メ刑ヲ免カレタル

時ハ第二百十七條ノ例ニ從フ

第四百二十二條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ三日以

上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一

圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火

ヲ焚ク者

ニ水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スヘキ

ノ求メテ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

三 腐敗物其他健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ販賣

シタル者

四 健康ヲ保護スル為メ設ケタル規則又ハ傳

一 染病豫防規則ニ背キタル者

五人ノ通行スヘキ場所ニアル危険ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ為サ、ル者

六 路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ啖シ又ハ警逸セシメタル者

七 發狂人ノ肴字ヲ急リ路上ニ徘徊セシメタル者

八 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ急リ路上ニ放シタル者

九 變死人ノ檢視ヲ受スシテ埋葬シタル者

十 人民集會ニテ官署ヨリ退散スヘキ命ニ従ハサレタル者

十一 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損又ハ汚瀆シタル者

タル者

十二 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

十三 公然人ヲ罵詈朝弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第四百二十三條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ヲ妨害ヲ為シタル者

二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

三 夜中魚提燈ニテ車馬ヲ疾驅スル者

四水石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又
ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

五路上ノ常燈ヲ消シタル者

六瓦礫ヲ道路家屋圍圍ニ投擲シタル者

七禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ之ヲ取除
カサル者

八汚穢物ヲ道路家屋圍圍ニ投擲シタル者

九警察ノ規則ニ背キテ工商業ヲ為シタル者

十醫師穩婆急病ノ時事故ナクシテ人ノ招キ

ニ應セサル者

十一死亡ノ申告ヲ為サスミテ埋葬シタル者

十二流言浮説ヲ為シテ人ヲ誑惑シタル者

十三私有地外ハ濫リニ家屋墻塼ヲ設ケ又ハ

軒楹ヲ出シタル者

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等

ヲ開キタル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀

損シタル者

十六道路橋梁其他ノ場所ニ標示シタル通行

禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十四條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ一日ノ

拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ斜料ニ

處ス

一 飲食物ノ分量ヲ増加スル為メ他物ニ混合

シテ販賣シタル者

二 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上

ニ販賣シタル者

三渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者

四渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスニテ通行シタル者

五路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者

六兵ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ為シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者

七官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ背キタル者

八溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受テ溝渠下水ヲ浚ハサル者

九制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者

十官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ於テ又ハ牧養シタル者

十一身軀ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十二他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十三他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯ス者ハ五錢以上五十錢以上ノ料料ニ処ス

一橋梁又ハ堤防ノ害ト為ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木

石薪炭等ヲ堆積シテ往來ノ妨ケヲ為シタル者

三車馬ヲ並ヘ牽テ人ノ通行ヲ妨ケタル者
四水路ニ於テ舟ヲ並ヘテ通船ノ妨ケヲ為シタル者

五冰雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六官署ノ督促ヲ受テ道路ノ掃除ヲ為サ、ル者

七制止ニ違ヒテ路上ニ遊戯ヲ為シ往來ヲ妨ケタル者

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫ク、ヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

ル者

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉卧シタル者

十三人家ノ牆壁ニ貼紙及ビ樂書シタル者

十四邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者

十五他人ノ田野園圃ニ於テ菜葉ヲ採食シ又ハ花卉ヲ折採シタル者

十六公園ノ規則ヲ犯シタル者

十七通路ヲキ他人ノ田畝ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

第四百二十六條 各地方ノ便宜ニヨリ施行ス
ル所ノ違敬言取目ニ違背シタル者ハ犯情ノ輕
重ニ從テ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又
ハ五錢以上一円九十五錢以下ノ科料ニ處ス

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

7

